

[ポリエ]…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいにあります。

今月は、はっきりしないぐずついた天気が続きました。秋吉台を眺めてもなんだかスッキリしません。草原も天気を写してか、緑もどんよりとした感じでした。権現山も山頂に雲がまとわりついている時があり、見慣れて好きな景色なのにあまり面白くありません。草花の成長も今ひとつのようです。例年なら、すでに咲いているはずのコカモメヅルもまだまだ小さなツボミです。この分だと花の咲くのは遅くなって、開花期間は短いのかもかもしれません。



季節の花

豪快なハンカイソウ！！

ギンパイソウ。花壇から逃げ出したもののでしょうか。まさに小さな銀杯を思わせるようなかわいい花です。美味しいのでしょうか虫に食べられてしまうことがあります。

ハンカイソウ。草姿が大きくてたくましいことから、三国志などに登場する樊噲（ハンカイ）にたとえての命名です。木漏れ日のある明るい林縁で、時に群生して豪快に咲いています。

ドクゼリ。いつの間にか大きなプランターの中に生えてきました。何だろうと思ってそのまま観察を続けたところ、ドンドン大きく成長して、咲いてビックリ。ドクゼリでした。園芸用土を使っていたし、どこからタネが飛んで来たのかも分かりません。もうしばらく様子を見ることにしましょう。



観察会 「秋吉台のカタツムリ」(6月17日)

カタツムリの観察会を行いました。あいにくの天気でしたが、雨に降られることもなく長者ヶ森や秋芳稲荷付近を見てまわりました。天候不順のためか、たくさんのカタツムリは見つかりませんでした。白くて小さいキュウシュウシロマイマイや石灰岩の表面に生息する数ミリほどの大きさで赤褐色のベニゴマオカタニシなど8種類のカタツムリを観察しました。



観察会 「モリアオガエルの観察と卵のレスキュー」(6月18日)

モリアオガエルの観察とその卵のレスキューを行いました。レクチャールームで情報交換や概要説明を受けた後、三角田川や秋吉台家族旅行村へ移動しました。たくさんの卵塊があるので、産卵に来たモリアオガエルが近くで休んでいるのではないかと探しましたが、見つかることはできませんでした。ちょっと残念です。レスキューした卵は、みんなで分けて持ち帰って育てることにしました。



森の昆虫教室・カブトムシ(6月25日) カブトムシ博士になろう

森の昆虫教室(カブトムシ)を行いました。概要説明の後、野外に出て昆虫を観察。樹液の滲んだところにヒラタクワガタのオスとメスがやって来ているのを見て、ちょっと興奮気味です。今年はジャコウアゲハの産卵があり、近くではその幼虫やサナギがたくさん見られました。後半は昆虫標本を使った説明とカブトムシの飼育法などについて学びました。その後、カブトムシのオス・メスのペアがプレゼントされ、子供たちは大喜びでした。



7月の行事

7月17日(月祝) 「森の昆虫教室・クワガタムシ」

野外での昆虫観察とクワガタムシの育て方を学びます。